

3	款	民生費	2	項	児童福祉費	1	目	児童福祉総務費													
事業		事務事業名		少子化対策推進費						担当	部名	企画管理部		課名		未来創造課		電話		51-6614	
246		予算事業名		(少子化対策推進費)						実	施	法		(H27)		業務委託		一部業務委託		市直営	
基本事項		事業期間		開始年度	平成 18 年度		終了年度														
総合計画		施策の大綱		第 1 部	豊かな心を育み誰もが輝くまち																
		政策(章)		第 1 章	元気な子どもを育むまちづくり																
		施策(節)		第 1 節	子ども・子育て支援の推進																
根拠法令等		射水市少子化対策推進委員会設置要綱、射水市少子化対策ワーク会議設置要綱																			
事業目的		対象		誰を・何を 射水市の子育て世帯及び子どもたち																	
		意図		少子化対策推進委員会及び少子化対策ワーク会議を開催し、子育て支援を地域の実情に応じて提供できるよう、子どもの保護者、その他子ども、子育て支援に係る当事者の意見を聴く。また、子育て支援のボランティア団体である子育て支援隊の活動により、地域における子育て支援の仕組みづくりを図る。																	
成果指標		事業目的を達成する指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名												
				%	97.9	97.8	集計中	100	「子育てが楽しい」と回答する率												
事業内容		手段		どのような方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化対策推進委員会及び少子化対策ワーク会議の開催</li> <li>「いみず子育て情報ちやいる.com」の発信</li> <li>地域住民による子育て支援隊活動</li> </ul>															
活動指標		事業内容の活動を提示する指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名												
				媒体	4	4	4	4	子育て情報提供媒体数												
備考		その他説明を要する事項																			
事業コスト		項目(単位:千円)		H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	事業コストに関する特記事項													
		直接事業費		333	2,882	226	10,310	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度決算の内、委託料2,473千円が子ども子育て支援事業計画に係る委託料</li> <li>平成28年度予算の内、9,900千円がアプリ構築費及び運用費・年間保守費</li> </ul>													
		(当初予算額)		(487)	(3,634)	(243)															
		うち臨時職員人件費		0	0	0	0														
		国・県支出金		0	0	0	0														
		地方債		0	0	0	0														
		その他		0	0	0	0														
		一般財源		333	2,882	226	10,310														
個別評価		評価項目		説明																	
		妥当性 (a~c)		a	子どもの保護者、その他子ども、子育て支援に係る当事者の意見を聴くことは、射水市の子育て支援を進めていくうえで重要なことであり、事業の実施意義は高い。																
		有効性 (a~c)		a	当該目的を持って設置している外部委員の組織はないため、類似・重複している事業がない。																
		効率性 (a~c)		a	少子化対策推進委員会及び子ども施策推進委員会の同時開催による効率的な事務の遂行を図っている。																
総合評価(1次評価)		評価結果 (A~C)		A	現行どおり事業を進めることが適当						評価結果 (A~C)										
		今後の方向性		改善内容・現行どおりとする理由等						総合評価(2次評価)		評価委員会のコメント									
		廃止・休止																			
		規模縮小																			
		統合・連携																			
		民間活用																			
		負担適正化																			
		やり方改善																			
		現行どおり																			
		拡充																			

3 款	民生費	2 項	児童福祉費	1 目	児童福祉総務費				
事業	事務事業名	少子化対策推進費				担当部署	企画管理部		
	246	予算事業名	(少子化対策推進費)				課名	未来創造課	
						電話	5 1 - 6 6 1 4		
評価項目	評価の視点	内容 (該当は、非該当は×) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない (妥当性を a とする)						判定	
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。							
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。							
	受益者・費用負担	事業内容 (手段) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。							
有効性	政策体系との整合性	事業の成果 (意図) が、上位施策の目標達成に結びついている (貢献している)。							
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。							
	成果の向上余地	事業内容 (手段) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。							
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。							
効率性	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 (手段) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。							
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 (手段) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。							
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。							
評価結果	個別評価 (a ~ c)	妥当性	有効性	効率性	総合評価 (A ~ C)	評価結果			
		a 適合	a 適合	a 適合	A	現行どおり事業を進めることが適当			

性質	交付先区分		類型区分						
	補助区分		算定方法						
交付状況	項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	特定財源	項目		
	補助金等交付件数								
	補助金等交付額								
交付団体状況	うち一般財源					事務局体制	項目		
	項目	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算				
	交付先歳入決算額								
	補助金の占める割合								
	交付先歳出決算額								
	次年度繰越額								
事業目的	対象	誰を・何を						法人会員数	
	意図	どのような状態に						個人会員数	
事業内容	手段	どのような方法で							